



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月6日

上場会社名 株式会社ゴールドウイン 上場取引所 東
 コード番号 8111 URL http://www.goldwin.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 貴生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員 (氏名) 二川 清人 TEL 03-3481-7203
 管理・人事総務担当
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	12,200	△32.5	△479	—	△76	—	△292	—
2020年3月期第1四半期	18,074	22.0	1,902	61.7	1,946	81.9	1,375	133.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △797百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 1,024百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△6.46	—
2020年3月期第1四半期	30.41	—

※2019年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	82,423	43,935	53.2
2020年3月期	82,285	46,852	56.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 43,867百万円 2020年3月期 46,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	45.00	—
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	15.00	—	45.00	60.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2019年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、2020年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。2020年3月期の第2四半期末配当金を仮に当該株式分割後に換算しますと15円、年間配当金合計は60円となります。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,600	△33.0	△1,500	—	△1,350	—	△1,225	—	△27.04
通期	84,000	△14.2	8,100	△53.7	9,600	△41.4	6,400	△40.4	141.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	47,648,172株	2020年3月期	47,648,172株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,323,456株	2020年3月期	2,356,156株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	45,300,191株	2020年3月期1Q	45,254,148株

※2019年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染の影響により、政府から緊急事態宣言が発出され、不要不急の外出自粛要請等により消費活動が著しく減少したため、国内経済は極めて厳しい状況となっております。また、今後の見通しにつきましても同感染症の影響が今後も続く予想される等、依然不透明な状況となっております。

このような環境下、連結売上高については、直営店舗及び卸先店舗の臨時休業や短縮営業を行ったことにより、前年同期比減収となりました。なお、直営店舗の臨時休業は、3月下旬～5月下旬にかけて直営155店舗のうち最大で150店舗を臨時休業としましたが、5月下旬以降、当初の見通しよりも早く営業を再開し、6月に入り全店舗での営業を再開しております。

ブランド事業別では、「ザ・ノース・フェイス」「ヘリーハンセン」等アウトドア関連ブランドについては、登山やスポーツイベント等の開催自粛の影響は認められるものの、自宅内でのトレーニングやランニング、また近隣でのキャンプ等、「新しい生活様式」による需要増加を取り込むことで、5月14日に発表した当初見通しよりも減収幅を低く抑えることができました。一方、アスレチック関連ブランドについては、自宅でのオンラインヨガに注目が集まり、「ダンスキン」のヨガウェアの引き合いが増加しました。ただし、昨年ブランド認知度を飛躍的に高めた「カンタベリー」ブランドがトップリーグ等の試合中止の影響を受け、さらには、「エレッセ」ブランドがリブランディングに伴い販売チャネルを絞っていることが影響し前年同期比減収となりました。

営業利益については、直営店で開催されるイベント中止等、マーケティング費用の削減に加え、返品・値引等の販売ロス低減について着実な成果を継続することができたものの、臨時休業期間中における販売社員への全額給与保証等により販売費及び一般管理費比率が高まった結果、営業損失となりました。

経常利益については、韓国における持分法適用関連会社であるYOUNGONE OUTDOOR Corporationの持分法投資利益が期初見通しよりも改善したものの、経常損失となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高12,200百万円(前年同期比32.5%減)、営業損失479百万円(前年同期は営業利益1,902百万円)、経常損失76百万円(前年同期は経常利益1,946百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は292百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,375百万円)となりました。

なお、記載金額には、消費税等は含まれません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は82,423百万円となり、前連結会計年度末に比べ138百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が2,113百万円、受取手形及び売掛金が1,702百万円、電子記録債権が925百万円減少したものの、商品及び製品が2,277百万円、土地が2,150百万円増加したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,055百万円増加し、38,488百万円となりました。これは主に、未払法人税等が3,128千円、支払手形及び買掛金が1,839百万円減少したものの、借入金が10,960百万円増加したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,917百万円減少し、43,935百万円となりました。その結果、自己資本比率は53.2%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、新型コロナウイルス感染拡大が連結業績に与える影響の予測が極めて難しい状況ではありますが、このような環境にあっても、次期中期経営計画に続く成長戦略の基盤作りを推進することを基本方針とし、引き続きオリジナルグローバルビジネスの強化、アスレチック事業の収益改善のためのリブランディング推進、eコマース事業の抜本拡大と自主管理型ビジネスの確立などの重点課題を推進して参ります。

2021年3月期の連結業績予想は、期初見通しを発表した5月14日時点では、第1四半期期間中、直営店の臨時休業や営業時間の短縮、外出自粛の影響で来店客数の大幅な減少が続き、その後第2四半期以降は経済活動が徐々に再開して緩やかに回復する前提としておりました。しかしながら、当該期間中の卸販売が堅調に推移したことに加え、直営店も6月には全店再開することができ、再開後の販売も好調に推移していることを踏まえ、連結・個別ともに売上高・利益、全て公表値を上回る見込みとなったことから修正するものであります。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,649	15,535
受取手形及び売掛金	8,663	6,961
電子記録債権	3,188	2,263
商品及び製品	14,173	16,451
仕掛品	54	73
原材料及び貯蔵品	544	601
その他	954	1,515
貸倒引当金	△10	△8
流動資産合計	45,217	43,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,803	1,777
土地	2,541	4,691
その他(純額)	1,823	1,907
有形固定資産合計	6,168	8,376
無形固定資産		
商標権	2,085	2,014
その他	1,065	1,005
無形固定資産合計	3,150	3,019
投資その他の資産		
投資有価証券	20,740	20,258
差入保証金	2,478	2,511
その他	4,793	5,130
貸倒引当金	△265	△265
投資その他の資産合計	27,748	27,635
固定資産合計	37,067	39,032
資産合計	82,285	82,423

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,641	2,802
電子記録債務	12,784	11,770
短期借入金	—	9,520
1年内返済予定の長期借入金	1,916	2,160
未払法人税等	3,199	71
賞与引当金	1,647	1,558
返品調整引当金	34	73
その他	6,740	4,827
流動負債合計	30,964	32,784
固定負債		
長期借入金	2,109	3,306
退職給付に係る負債	204	198
株式給付引当金	664	682
その他	1,490	1,516
固定負債合計	4,467	5,703
負債合計	35,432	38,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,079	7,079
資本剰余金	1,439	1,439
利益剰余金	44,157	41,753
自己株式	△4,233	△4,204
株主資本合計	48,443	46,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△60	264
繰延ヘッジ損益	67	95
為替換算調整勘定	△577	△1,478
退職給付に係る調整累計額	△1,114	△1,083
その他の包括利益累計額合計	△1,686	△2,201
非支配株主持分	95	67
純資産合計	46,852	43,935
負債純資産合計	82,285	82,423

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	18,074	12,200
売上原価	8,543	5,869
売上総利益	9,530	6,330
返品調整引当金繰入額	129	38
差引売上総利益	9,401	6,291
販売費及び一般管理費	7,499	6,770
営業利益又は営業損失(△)	1,902	△479
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	40	37
持分法による投資利益	20	374
その他	19	22
営業外収益合計	81	435
営業外費用		
支払利息	20	18
手形売却損	6	5
その他	10	10
営業外費用合計	37	33
経常利益又は経常損失(△)	1,946	△76
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
投資有価証券評価損	37	333
その他	0	3
特別損失合計	37	336
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,908	△413
法人税、住民税及び事業税	177	89
法人税等調整額	348	△220
法人税等合計	526	△130
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,382	△283
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	9
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,375	△292

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,382	△283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72	325
繰延ヘッジ損益	△15	△2
為替換算調整勘定	38	△16
退職給付に係る調整額	93	33
持分法適用会社に対する持分相当額	△402	△854
その他の包括利益合計	△357	△514
四半期包括利益	1,024	△797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,018	△807
非支配株主に係る四半期包括利益	6	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の当社グループ事業への影響に関しては、感染拡大が年内に収束した場合でも、インバウンド需要の低迷や外出自粛による消費マインドの低下に起因する消費需要の落ち込みが回復するには相応の期間を要するものと予測されます。そのため、当社では、第70期第1四半期を感染拡大のピークとし、第2四半期より回復傾向が見え始め、第3四半期から第4四半期にかけて回復軌道に乗るとの仮定に基づき固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

なお、当該見積りに用いた仮定は、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した追加情報の内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)および当第1四半期連結累計期間

(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。